

【学生フォーラム】

地域と連携した遊びの実践からの保育者養成課程の学生の学び —岡崎市東公園「紅葉まつり」を通して—

岡崎女子短期大学 武井 百々佳、大村 茉菜、稲吉 琉奈、小林 千紗

要 旨

岡崎市公園緑地課と連携した授業の一環として、岡崎市東公園で開催される紅葉まつりの広場イベントにて、幼児から小学校低学年の子どもとその保護者を対象とした東公園の自然環境を生かした遊びを企画して実践を行った。企画段階では東公園の自然の魅力を再発見すると共に環境設定の重要性を感じ、準備段階では学生同士で協働する事や材料研究や事前準備の重要性を再確認した。実践当日では自然を取り入れた遊びが子ども達の豊かな発想力や想像力に繋がることや親子で遊ぶことの良さを実感し、保育者として実践的な学びを得ることができた。

1. はじめに

(1) 目的

岡崎市の公園緑地課との連携授業を通して、保育者として必要な感性を高めると共に、教材研究や保育方法を探求し、実践力を身に付けること、地域に根差した活動に参加することで、地域との繋がりや地域に貢献することの大切さを学ぶことを目的として、実践に取り組んだ。

(2) 授業概要

岡崎女子短期大学幼児教育学科第一部 2 年時に開講されている「子どもの研究Ⅱ」の授業の一環として、岡崎市公園緑地課と連携し、本田ゼミと渡部ゼミ生 22 名が岡崎市東公園で開催される紅葉まつりの広場イベント参加に向けて、右記の表 (表 1) の通り授業が行われた。

(3) 紅葉まつりと広場イベントへの参画

東公園は大学から徒歩 15 分程度に位置し、自然豊かな憩いの場である。公園内には約 1,500 本のモミジが植栽されており、紅葉スポットとして知られている。11 月下旬頃から 12 月初旬までが見頃で、期間中はライトアップ、広場イベントとしてステージやワークショップ等が開催される。

参加した広場イベントでは、4 班の学生がそれぞれ幼児から小学校低学年の子どもとその保護者を対象とした東公園の自然環境を生かした遊びを企画し、実践を行った。

表 1. 「紅葉まつり」に向けた授業内容

回	授業日	授業内容
1	9/22	岡崎市役所職員より東公園紅葉まつりイベントについての概要説明
2	10/20	東公園の現地調査 現地調査を踏まえた自然と関わる遊びの実践案の作成 (個人案)
3	10/27	個人案を持ち寄り、班での実践案を作成
4	11/3	班による実践計画の作成と教材研究
5	11/11	実践計画の中間発表 岡崎市職員からの意見を踏まえた実践計画の再検討 市役所職員よりイベント当日の説明
6	11/17	実践計画の作成、材料準備
7	11/24	当日の実践に向けての準備
8	11/28	紅葉まつりイベント実施
9	12/8	実践の振り返り

2. 各班の企画内容と振り返り

(1) 1 班「どんぐりで遊ぼう！」(写真 1)

身近な秋の自然に親しむことや自然物を使って遊ぶことを目的として、東公園内にあるどんぐりを使ったあて、コリントゲーム、パチンコの3つの遊びを計画した。2つとして同じものがないからこそ、楽しさが広がることやその時期にしか味わうことができないおもしろさを感じることができるなど、保育教材としての自然の魅力を確認した。

(2) 2班「秋の自然を使ってフォトフレーム作りをしよう！」(写真2)

秋の自然に触れ、自然物を使って作ることを楽しむという目的を立て、木の枝や松ぼっくり、木の実をつかったフォトフレーム作りを企画した。園内の自然物がどこにあるかが分かるように園内マップも合わせて用意した。自分自身で見つけることにより、その性質や仕組みに気付くことができ、様々な形があることで子どもの想像力や発想力がより豊かになることを学んだ。

(3) 3班「今日の思い出を残そう！ネームプレートを作ろう」(写真3)

自然物を用いてオリジナル作品を作ることを楽しむ事を目的として、ネームプレート作りを企画した。当日子ども達が採集した自然物を貼り付けたり、クレヨンやサインペンで自由に描いて仕上げた。子ども達の中には石や松ぼっくりを貼り付けるなど、発想力の豊かさに驚かされると同時に、子ども達が安全に楽しく取り組むことができるよう、役割を分担して事前準備する等、協同する事の重要性を学んだ。

(4) 4班「ウォークラリー 東公園名人になれるかな？」(写真4)

自然に触れることを楽しみ自然に興味を持つことをねらい、ウォークラリーを企画した。子ども達は、園内に設置された自然に関わるクイズやミッションを書いた箱を探しながら公園内を散策した。クイズの景品として手作りの塗り絵を用意した。公園緑地課の方々から中間発表において企画内容についてのご助言、準備段階でもご協力を頂き、地域の様々な人と関わりと協力し準備や活動を進めていくことの大切さを学んだ。

3. おわりに

私たちは、岡崎市の公園緑地課との連携授業を通して、職員の方から企画段階で様々な示唆やご協力を頂き、自然を使ったあそびの魅力を実感する共に遊びの実践を企画することができた。形や大きさも1つ1つ異なり、その異なるものを遊びに取り入れることは、子ども達の発想力や想像力に繋がることを感じた。また、子ども達の姿から親子で一緒に遊ぶことの良さを実感し、保育者を志す私たちにとって、親子で遊ぶことができる機会を保障することの意義を感じることもできた。今回の経験を保育者になった時に生かしていきたい。

謝辞

紅葉まつりへの参加にあたり、多くの支援をいただいた岡崎市公園緑地課、東公園の職員の方々、紅葉まつりに参加くださった子どもたちとその保護者の方々に心より感謝いたします。



写真1 どんぐりで遊ぶ様子



写真2 フォトフレーム作成の様子



写真3 ネームプレート作品



写真4 ウォークラリーの風景